



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 萩原 一志

TEL 045-948-1961

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,414	9.3	411	22.8	409	22.2	388	
29年3月期第2四半期	3,765	4.6	335	57.8	335	57.9	233	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	45.08	
29年3月期第2四半期	27.11	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,877	12,186	87.8
29年3月期	14,115	12,168	86.2

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 12,186百万円 29年3月期 12,168百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		43.00	43.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				43.00	43.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	0.5	1,300	8.4	1,300	6.9	1,000	118.3	116.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	8,760,000 株	29年3月期	8,760,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	150,273 株	29年3月期	150,226 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	8,609,727 株	29年3月期2Q	8,609,884 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調を維持しつつも、海外経済や金融市場の動向など変動要因も多く、先行き不透明な状態で推移しました。

医療機器業界では、地域医療・在宅医療の役割拡大など、医療のあり方が大きく変容しつつある現状において、医療施設および業界関連各社は変化への柔軟な対応を求められています。

このような経営環境の中で、当社は、主力製品である採血管準備装置の最新モデルとして、より円滑な採血業務をサポートするための豊富な機能を備えた「BC・ROBO-8001RFID」を期初に販売開始いたしました。また、検体検査装置分野においても、血液ガス分析装置の最新モデル「GASTAT-700Model」の販売拡大に引き続き注力してまいりました。

しかしながら、国内外ともに装置本体の販売案件が前年同期比において減少した影響により、当第2四半期累計期間における売上高は3,414,155千円（前年同期比9.3%減少）となりました。なお、総売上高に対する海外売上高の占める割合は9.4%となりました。

利益面に関しては、対前年同期比における売上高の減少に伴い、売上総利益は1,601,669千円（前年同期比8.6%減少）となりました。販売費及び一般管理費は、前期には新型の採血管準備装置・血液ガス分析装置開発のための開発費投入があったことや、当期における研究開発費の費用発生が当初の想定より遅れた影響等により、前年同期比で減少し1,190,005千円（前年同期比16.0%減少）となり、営業利益は前年同期比で増加となる411,664千円（前年同期比22.8%増加）、経常利益は409,246千円（前年同期比22.2%増加）、四半期純利益につきましては、前期には決算修正に係る特別損失があったことや、過年度決算修正に伴う税金還付が当第2四半期累計期間にあったことから、前年同期比で増加し388,163千円（前年同期は四半期純損失233,446千円）となりました。

#### <品目別の販売状況>

##### ・採血管準備装置

当第2四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は1,034,233千円（前年同期比30.0%減少）となりました。国内外ともに、上期における主力モデルの更新案件が前年同期比において少なかったことから、国内市場での売上高は906,033千円（前年同期比31.4%減少）、海外市場での売上高は128,200千円（前年同期比17.8%減少）となりました。

##### ・検体検査装置

当第2四半期累計期間における検体検査装置の売上高は224,451千円（前年同期比7.6%減少）となりました。血液ガス分析装置の最新機種「GASTAT-700Model」の販売に注力した結果、海外市場における売上高は42,220千円（前年同期比63.2%増加）となりましたが、国内市場においては、同製品の販売展開の範囲が未だ限定的であったことから、182,230千円（前年同期比16.0%減少）となりました。

##### ・消耗品等

当第2四半期累計期間における消耗品等の売上高は2,155,470千円（前年同期比5.4%増加）となりました。国内市場においては、装置の累計販売台数の増加に伴って売り上げを伸ばし、2,005,543千円（前年同期比7.7%増加）となった一方、海外市場における売上高は、大口の試薬受注の時期が後ろ倒しになった影響により、149,927千円（前年同期比17.9%減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は13,877,207千円となり、前事業年度末比238,521千円減少しました。これは主に、前事業年度末に比べて売上債権の額が771,852千円減少、仕掛品が109,424千円減少となった一方、現金及び預金が584,573千円増加、商品及び製品が36,473千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債の残高は1,690,462千円となり、前事業年度末比256,466千円減少しました。これは主に、未払法人税等が258,616千円減少、未払金が153,132千円減少した一方、前受収益が75,027千円増加、買掛金が38,738千円増加したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は12,186,744千円となり、前事業年度末比17,944千円増加しました。これは四半期純利益が388,163千円であった一方、剰余金の配当370,218千円があったことによるものであります。なお、自己資本比率は87.8%となり、前事業年度末比1.6ポイント増加しました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、6,685,110千円（前事業年度末比534,432千円増加）となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期累計期間において、営業活動により得られた資金は1,005,401千円（前年同期比875,810千円増加）となりました。これは主に、税引前四半期純利益が428,253千円、売上債権の減少額が771,852千円になった一方、法人税等の支払額289,791千円があったことによるものであります。

当第2四半期累計期間において、投資活動により支出した資金は101,712千円（前年同期比9,384千円増加）となりました。これは主に、差入保証金の差入による支出36,562千円があったほか、定期預金の預入による支出50,140千円があったことによるものであります。

当第2四半期累計期間において、財務活動により支出した資金は369,256千円（前年同期比1,492千円減少）となりました。これは主に、配当金の支払額369,256千円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本日（平成29年11月8日）公表「平成30年3月期 第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	8,238,552	8,823,125
受取手形	412,997	321,003
電子記録債権	224,900	210,173
売掛金	2,076,251	1,411,119
商品及び製品	1,104,674	1,141,148
仕掛品	289,972	180,548
原材料及び貯蔵品	88,958	101,018
前払費用	15,671	22,333
繰延税金資産	124,526	128,543
未収消費税等	28,605	-
その他	5,221	18,385
貸倒引当金	△378	△642
<b>流動資産合計</b>	<b>12,609,956</b>	<b>12,356,759</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	898,454	898,454
減価償却累計額	△515,647	△527,590
建物（純額）	382,807	370,864
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	△3,478	△3,516
構築物（純額）	599	561
機械及び装置	162,300	162,300
減価償却累計額	△102,927	△111,230
機械及び装置（純額）	59,372	51,069
工具、器具及び備品	129,797	141,342
減価償却累計額	△95,293	△104,836
工具、器具及び備品（純額）	34,504	36,505
土地	787,326	787,326
<b>有形固定資産合計</b>	<b>1,264,610</b>	<b>1,246,328</b>
<b>無形固定資産</b>		
商標権	266	166
ソフトウェア	21,593	22,155
電話加入権	1,177	1,177
<b>無形固定資産合計</b>	<b>23,038</b>	<b>23,500</b>
<b>投資その他の資産</b>		
出資金	7,510	7,510
繰延税金資産	113,564	110,646
その他	268,992	304,407
貸倒引当金	△171,944	△171,944
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>218,122</b>	<b>250,619</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>1,505,772</b>	<b>1,520,447</b>
<b>資産合計</b>	<b>14,115,728</b>	<b>13,877,207</b>

（単位：千円）

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	705,073	743,811
未払金	296,880	143,748
未払費用	51,013	54,771
未払法人税等	316,151	57,535
未払消費税等	—	24,454
前受金	75,574	78,323
預り金	8,237	9,006
前受収益	46,113	121,140
賞与引当金	99,040	116,861
その他	1,405	2,271
流動負債合計	1,599,489	1,351,924
固定負債		
退職給付引当金	157,483	161,604
役員退職慰労引当金	108,105	115,844
製品保証引当金	19,535	9,802
その他	62,315	51,286
固定負債合計	347,439	338,537
負債合計	1,946,928	1,690,462
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	10,449,143	10,467,088
自己株式	△318,069	△318,069
株主資本合計	12,168,799	12,186,744
純資産合計	12,168,799	12,186,744
負債純資産合計	14,115,728	13,877,207

（2）四半期損益計算書  
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）
売上高	3,765,146	3,414,155
売上原価	2,013,005	1,812,486
売上総利益	1,752,140	1,601,669
販売費及び一般管理費	1,416,833	1,190,005
営業利益	335,306	411,664
営業外収益		
受取利息	400	208
受取配当金	0	0
その他	518	919
営業外収益合計	919	1,127
営業外費用		
支払利息	46	49
為替差損	1,055	568
その他	96	2,928
営業外費用合計	1,198	3,545
経常利益	335,027	409,246
特別利益		
還付消費税等	-	64,253
特別利益合計	-	64,253
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	658,107	14,320
訴訟関連費用	-	30,925
特別損失合計	658,107	45,246
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△323,079	428,253
法人税、住民税及び事業税	12,441	132,594
法人税等還付税額	-	△91,405
法人税等調整額	△102,075	△1,098
法人税等合計	△89,633	40,090
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△233,446	388,163

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△323,079	428,253
減価償却費	33,496	34,685
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,900	7,738
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	-	4,121
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	264
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,007	17,821
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△10,168	△9,732
受取利息及び受取配当金	△401	△208
支払利息	46	49
売上債権の増減額 (△は増加)	1,096,925	771,852
たな卸資産の増減額 (△は増加)	190,493	60,890
仕入債務の増減額 (△は減少)	△623,213	38,738
その他の資産の増減額 (△は増加)	△11,561	8,071
その他の負債の増減額 (△は減少)	250,151	△67,514
小計	600,581	1,295,033
利息及び配当金の受取額	401	208
利息の支払額	△46	△49
法人税等の支払額	△471,344	△289,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,591	1,005,401
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△60,302	△50,140
有形固定資産の取得による支出	△30,933	△11,544
無形固定資産の取得による支出	△2,000	△5,319
差入保証金の差入による支出	△1,094	△36,562
差入保証金の回収による収入	2,001	1,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,328	△101,712
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△207	-
配当金の支払額	△370,541	△369,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△370,749	△369,256
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△333,485	534,432
現金及び現金同等物の期首残高	5,991,560	6,150,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,658,074	6,685,110

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、医療機器及びこれら装置で使用する消耗品の製造、販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。